

多可町文化財保存活用地域計画策定支援業務公募型 プロポーザル審査結果及び講評

1. 経緯と審査結果

(1) 経緯

- ・令和5年6月30日（金）募集要項、仕様書等公表
- ・令和5年7月7日（金）業務実施に係る質問の受付期限（有）
- ・令和5年7月12日（水）質問への回答（有）
- ・令和5年7月14日（金）参加申込書受付期限（1社提出）
- ・令和5年7月21日（金）企画提案書提出期限（1社提出）
- ・令和5年7月28日（金）提案説明
(プレゼンテーション及びヒアリング)

(2) 審査委員会

- ・令和5年7月28日（金）開催（委員数9名）
本プロポーザルは、提案書及びプレゼンテーション、ヒアリングによる
評価点を基に審査委員会で最優秀者を選定した。

(3) 審査結果

最優秀提案者（交渉権者）
株式会社スペースビジョン研究所

2. 審査講評

町内のおもな歴史文化遺産についての状況を把握し、多可町総合計画をはじめとする各種計画を熟知した上で、現在直面している課題を洗い出し、課題解決に向けた実効性のある提案が高く評価されました。

様々な提案をされた中でも、アンケート実施、データベースの作成と活用、多可遺産（仮称）制度、町内外の人々による応援団の活用など、幅広い視点からの提案がなされており、計画策定に向けての期待感が持てます。

また、多可町文化財保存活用地域計画策定協議会における方向性とも合致しており、連携して、実効性のある計画を策定していけるものと評価できます。

3. おわりに

今回のプロポーザルに参加され、貴重な時間を費やして真摯に努力いただいた提案者に対し、心からお礼を申し上げます。

今後、多可町文化財保存活用地域計画策定協議会としっかり連携をとり、本事業が多可町の歴史文化遺産の保存継承、さらには郷土愛や誇りの醸成につながり、地域活性化に資するものになることを委員一同心から願っております。

多可町プロポーザル審査委員会
委員長 佐藤 彰浩